

・料金に対する国民の関心の高まり

1. 水道料金の推移

全国約1900の上水道事業のうち、毎年1割程度に相当する事業者が料金改定を実施。

一般家庭で20立方メートル使用した場合の水道料金の平均は、10年間で2669円(H4)から3092円(H13)となっており、値上げ幅は、約16%。

しかしながら、家計の1ヶ月間の消費支出に占める水道料金の割合は、ほぼ0.7%で横ばいで推移。

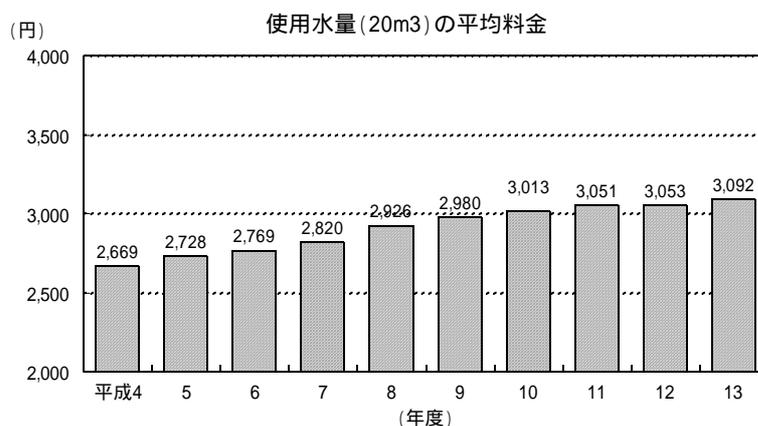
(1) 最近10年間(平成4年度～平成13年度)についてみると、全国約1,900の上水道事業のうち、毎年1割程度に相当する133～275の事業者で料金改定を実施。

年度 項目	平成4	平成5	平成6	平成7	平成8
上水道事業数	1,971	1,969	1,962	1,952	1,960
改定事業者数	228	201	266	181	231

年度 項目	平成9	平成10	平成11	平成12	平成13
上水道事業数	1,962	1,964	1,962	1,958	1,956
改定事業者数	275	209	133	153	154

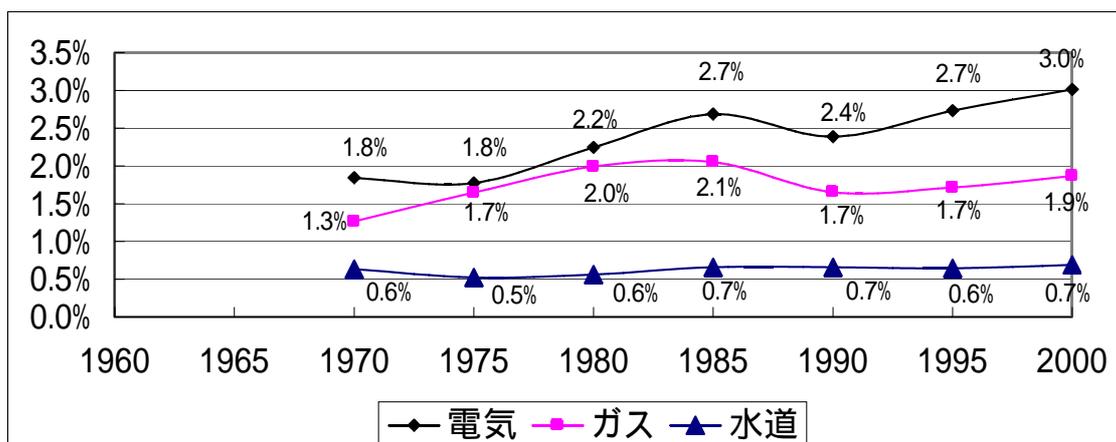
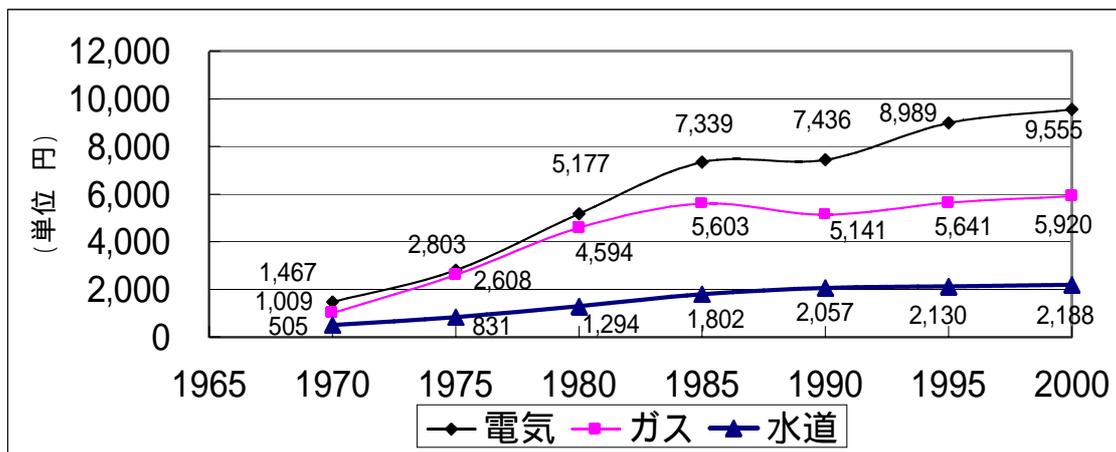
出典：水道統計要覧、水道料金表((社)日本水道協会)

(2) 平成4年度から13年度までの10年間に水道料金(使用水量20m³)の平均料金は、2,669円から3,092円になり、423円値上げ(値上げ幅約16%)されている。



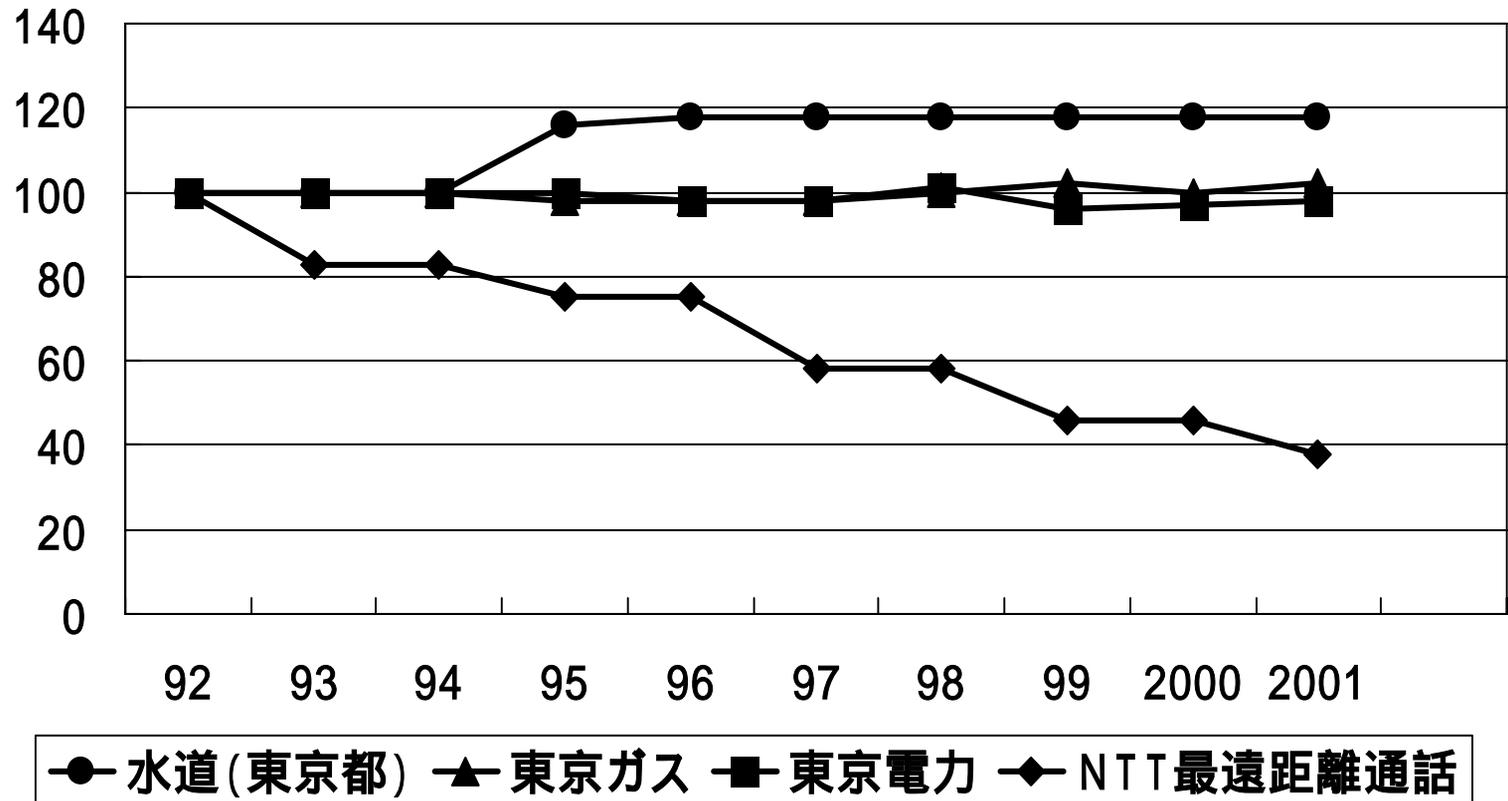
(3) 家計の1ヶ月間の消費支出に占める水道料金の割合は、1970年から2000年までの間、ほぼ0.7%で横ばいとなっている。

家計の1ヶ月間の消費支出に占める水道料金の割合は、電気料金及びガス料金に比べ一貫して低い値となっている。



公共料金の推移

(内閣府資料)



2. 規模別の料金

上水道事業規模別の水道料金の平均値は、総体的には規模が大きいほど料金が安い傾向にある。しかしながら、同一規模でも料金の値は大きく分散しており、水源の水質や搬送距離などの地域状況によりばらつきが生じている。

また、水道事業体の約94%は、1,500円～5,000円の範囲にあり、約3.3倍の格差となっている。

さらに料金が最も高い水道事業体の料金は、平均3,053円の約2倍となっている。

(1) 家庭用20m³当たり料金に対する上水道事業数の規模別分布

(水道統計H13)を見ると、規模の大きい給水人口10万人以上で2,400～2,500円程度、規模の小さい給水人口1万人未満で3,200～3,400円程度となっており、総体的には規模が大きい方が料金が安い傾向にある。しかしながら、同一規模でも料金の値は大きく分散しており、水源の水質や搬送距離などの地域状況によりばらつきが生じている。また、規模が大きくなるに従い分散幅は小さくなり、2300円程度に収束する傾向がある。

家庭用20m³当たり料金に対する上水道事業数の規模別分布

(平成13年度)

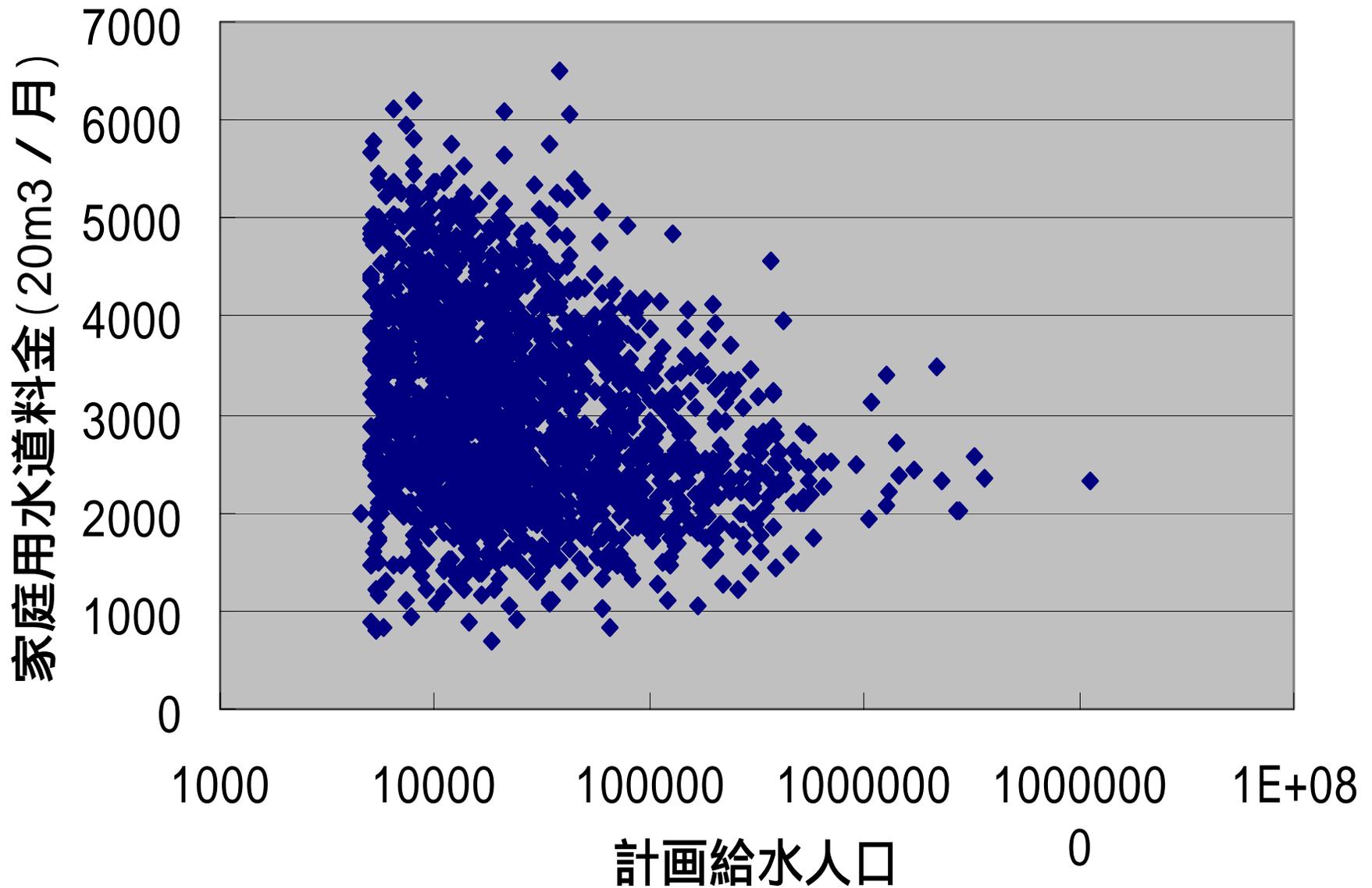
料金(円)	～1000	1001～1500	1501～2000	2001～2500	2501～3000	3001～3500	3501～4000	4001～4500	4501～5000	5001～5500	5501～6000	6001～	合計 (個数)	平均 (円)
100万人以上	0	0	0	7	4	2	0	0	0	0	0	0	13	2,501
50万～100万人未満	0	0	0	5	3	1	0	0	0	0	0	0	9	2,533
25万～50万*	0	1	10	19	15	5	0	1	1	0	0	0	52	2,472
10万～25万*	0	6	24	40	23	23	7	2	1	0	0	0	131	2,537
5万～10万*	0	9	23	50	59	32	24	9	2	0	0	0	188	2,735
3万～5万*	1	4	30	60	45	29	20	10	5	7	1	0	219	2,952
2万～3万*	0	4	15	40	58	39	22	22	9	4	1	0	206	3,005
1万～2万*	3	19	42	72	69	93	79	47	25	11	4	2	407	3,154
0.5万～1万*	1	6	24	68	89	69	90	65	42	29	5	2	490	3,436
0.5万人未満	2	7	12	14	20	17	22	22	12	5	2	0	136	3,286
合計	7	56	104	264	371	312	295	184	107	56	13	4	1,945	3,082
標準比(%)	0.4	2.9	5.5	13.7	19.1	16.1	14.7	9.5	5.5	2.9	0.7	0.2	100.0	

(注) 標準比、メータ使用料を含む。

(2) 料金が1,500円未満の事業体3.3%、5,001円以上の事業体3.8%を除く水道事業体の料金は、1,500円～5,000円の範囲にあり、約3.3倍の格差となっている。

また、料金が最も高い水道事業体の料金は、平均3,092円の約2倍となっている。

計画給水人口と水道料金



3. 内外価格差

水道料金の内外価格差については、家庭用20m³当たり料金の円換算では格差が認められるが、各国における家計最終消費支出に占める割合で比較すると、家庭における経済的な負担については大きな差はないと考えられる。

家庭用20m³当たり料金を下記の各国主要都市で比較すると、4倍の格差が認められる。

しかしながら、水道料金(20m³)の1人あたり家計最終消費支出に占める割合を試算して比較すると、大きな差はなく、さらにドイツにおける一般家庭の月平均使用量(m³)は2分の1から3分の1といわれていることも考慮すると、家庭における経済的な負担については大きな差はないと考えられる。

	東京 (日本)	ニューヨ ーク(米)	ロンド ン(英)	パリ (仏)	フランク ルト(独)
家庭用20m ³ 当たり料金(円)	2,656	1,156	2,399	1,749	4,554
1人あたり家計 最終消費支出 (米ドル)	19,575	19,664	15,349	13,131	14,389
水道料金(20 m ³)の1人あ たり家計最終消 費支出に占める 割合 (東京を100)	100	43	115	98	233

水道料金(家庭用20m³当たり料金)の比較

為替レートは、1ドル = 122.31円、1ポンド = 175.72円、
1フラン = 16.56円、1マルク = 55.54円

円換算値は、平成13年度内閣府委託調査結果

1人あたり家計最終消費支出(米ドル)は、総務省統計局国民経済計
算による